

「脱平均」時代の共創イノベーション戦略とは

開催趣旨

今、知財の世界は大きな転換期を迎えている。

これまでの垂直統合・供給主導型のビジネスモデルから、共創・需要牽引型への移行に伴い、技術独占・権利主張をベースとした対立軸発想の知財アプローチは、イノベーション創出・ビジネス推進の障害となりうる事が、様々なところで語られている。

特に、第四次産業革命やデジタル・トランスフォーメーションの推進においては、尖った能力を持つ異才との共感・融合を通じ、価値を実現するオープンイノベーションが求められている。このような変化を遂げる環境において求められる知財戦略・活動について、ベンチャー／スタートアップと従来企業のWin-Winの関係のあり方を、政府やファイナンスステークホルダーの視点も交えて議論し、日本の知財関係者が目指すべき新たな方向性についての提示を試みる。

日時 2019年12月2日(月)14:00～16:45 (意見交換会 17:00～18:00)

会場 TKP東京駅日本橋カンファレンスセンター (ホール6A) 東京都中央区八重洲1-2-16 TGビル別館 6 階
〔JIPA関西事務所 (大阪) にもTV中継〕

参加申込 ・シンポジウム〔東京・先着200名、大阪・先着50名、事前登録制、無料〕

・登壇者を囲む 意見交換会〔東京・先着40名、事前登録制、1000円税込〕

◆申込サイト https://www.jipa.or.jp/form/19chizai_kassei.html (10月16日から申込受付開始)

※ 本シンポジウムはオープンです。JIPA会員以外の方も ご参加頂けます。

PROGRAM タイムテーブル

13:30 受付開始

14:00～14:10 開会挨拶 久慈 直登 JIPA専務理事

14:10～14:40 **I 基調講演** 「『価値デザイン経営』によるベンチャーとのイノベーション」

講演者 住田 孝之氏 (前・内閣府 知的財産戦略推進事務局長)

14:50～16:30 **II パネル討議** 「すべての参加者にWin-Winをもたらすエコシステムを目指して」

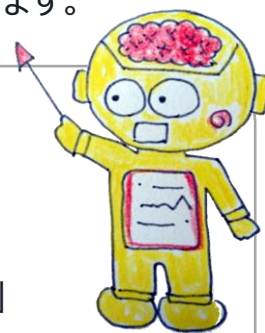
モデレータ 大水 真己 JIPA常務理事 (富士通㈱)

パネリスト 住田 孝之氏 (前出)、北野 譲治氏 (イーパーセル㈱)

平井 宏明氏 (三井住友海上キャピタル㈱)、高江 瑞一氏 (㈱日立製作所)

16:30～16:45 閉会挨拶 佐野 裕昭 JIPA副理事長 (住友電気工業㈱)

17:00～18:00 登壇者を囲む 意見交換会 (上記TKP会場のカンファレンスルーム202)





【講演者／パネリスト】住田 孝之 (SUMITA Takayuki) 氏



前・内閣府 知的財産戦略推進事務局長

1985年通商産業省（現・経済産業省）入省。知的財産、イノベーション、IT、FTA等に係る政策立案、貿易交渉等、幅広い業務に従事。知的財産政策室長、技術振興課長、情報通信機器課長、日本機械輸出組合ブラッセル事務所長、資源燃料部長、商務流通保安審議官、内閣府知的財産戦略推進事務局長等を歴任し、2019年退官。2016年から（一社）フューチャーセンターアライアンスジャパン理事。2019年から知的資産を活用した経営を推奨する国際組織WICIの会長としてIIRC（国際統合報告評議会）カOUNシルメンバー。

【モデレータ】大水 眞己 (OHMIZU Maki) 氏



日本知的財産協会 常務理事

富士通株式会社 法務・コンプライアンス・知的財産本部 本部長代理

1989年富士通(株)入社。半導体分野の特許ライセンス交渉と訴訟（含・TIキルビー特許訴訟）を数多く担当。2011年から法務渉外部長、2014年から現職。知財ポートフォリオ管理・活用、特許訴訟、標準化活動等の富士通グループ全体の知財戦略を主導。産構審・営業秘密小委員会委員。ニューヨーク州弁護士。

【パネリスト】北野 譲治 (KITANO Johji) 氏



イーパース株式会社 代表取締役社長兼CEO

1986年大東京火災海上保険(株)入社、その後退社し、保険ブローカー業を経て、2000年米e-Parcel, Inc.の日本法人（イーパース株式会社）を設立。総合企画部長、執行役員、社長室長兼任、営業本部長兼任を歴任し、2004年11月から代表取締役社長兼CEO、2005年3月に全株式取得しオーナー経営者となる。2006年7月には米創業会社の全株式を取得して日本法人をグローバル本社化し、現在に至る。

小説『雨にも負けず 小説ITベンチャー』（高杉良著・角川書店2019年3月刊）のモデル。

【パネリスト】平井 宏明 (HIRAI Hiroaki) 氏



三井住友海上キャピタル株式会社 投資開発 パートナー

1991年日本エンタープライズデベロップメント(株)（日本長期信用銀行系。銀行系で当時最大手VC。1999年長銀破綻に伴い買収されて安田企業投資(株)に社名変更）に入社。2007年安田企業投資(株)の投資第一部長に就任。2014年11月から現職。一貫してVCの投資業務に従事する。

【パネリスト】高江 瑞一 (TAKAE Yoshikazu) 氏



株式会社日立製作所 知的財産本部 知財プラットフォーム部 部長代理

2009年(株)日立製作所入社、知的財産権本部に配属。特許ライセンスにおける対外的窓口や条件交渉を行う渉外業務、知的財産に関して他社との利害関係を整理し契約文言を作成・修正を行う契約業務を主に担当。2014年から約1年間米国に留学、帰国後、新たに新規事業開発およびオープンイノベーションをサポートする業務に参画。現在、社内での新規事業アクセラレータの企画運営や、自ら新規事業推進も行っている。

オープンイノベーションの『各論・実践編』の研修も12月に開講します!!

J33臨時研修 「オープンイノベーションを支える知財マネジメント」

(関東:12/19、関西:12/20)

本シンポジウムでご紹介するオープンイノベーションの概要や今後の方向性から、実務により踏み込んだ、実践的な内容の臨時研修J33「オープンイノベーションを支える知財マネジメント」を開催します。企業事業部門、知財部門、およびベンチャーの立場で、今まさにオープンイノベーションの実務に携わっておられる方をそれぞれパネリストに迎え、自身のご経験を交えて、より実務面に深掘したカリキュラムとしています。特にパネルディスカッションでは、受講生にも参加いただくかたちでの活発な議論を企画しております。

いかに具体的にオープンイノベーションを推進していけばよいのか、求められる知財部門の役割とは？ J33臨時研修も、是非ご受講ください！

研修案内はこちら

